



ユネスコ委員会 活動報告

2024年度版

バザー班

秋の白珠祭(文化祭)でバザーを開催

収益は全額ガザ地区の支援を行う団体に寄付

ユネスコバザーを開催しました！

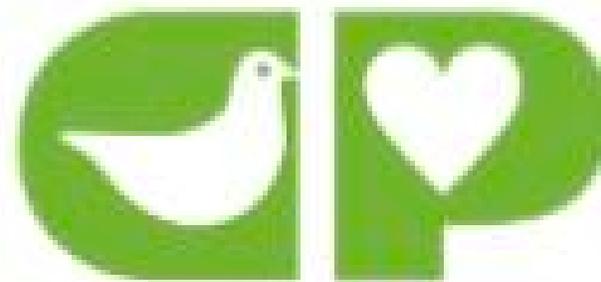
9月7・8日に行われた白珠祭にて、三田高生からの寄付品やフェアトレード商品の販売を行いました。



バザー売り上げ + 募金 41,955円全額を パレスチナ子供の キャンペーン〈ガザ緊急支援募金〉に寄付させていただきました。

子どもたちの命を守る 支援活動

ガザ地区全域で激しい砲撃と地上戦が続くなか、
ガザの子どもたちが生き延びるための支援活動を2023年10月に開始し継続しています。



パレスチナ子どものキャンペーン



団体ホームページ
はこちら↑



【CCPガザ速報178】ガザの生の声をお伝えします



ガザの状況と現地の声 YouTubeで最新情報更新中
@CCPNGOJapan

419,55円で
炊き出し
約200人分の支援



～支援活動例～

例えば、「200円」で命をつなぐ「炊き出し1食分」を届けることができます。
一人でも多くの子どもたちを救うために、あなたの力が必要です。



炊き出し
1,000~1,200食/日



保健支援
700人~/日



水の供給
6,000~9,000ℓ/日



子ども支援
100人~/日



物資搬入
2700世帯



物資・現金配布
700世帯

日本国内では、ガザの最新状況や「現地の人々の声」をSNSや報告会などで伝えています。
また、停戦を求めて国会や政府、メディアや市民社会への働きかけも行っています。

講演会の開催

パレスチナ子供のキャンペーンより田中様のお話をお聞きしました。

パレスチナの地域というと“**貧しく遅れた地域**”
というイメージがあったが、もともとは
“**普通の暮らし**”があったことに驚いた。

広報において、メディアに呼ばれたら必ず出たり、
SNSでの積極的な発信を活用して**若者との交流**の
場を設けていたりして、自分たちも勉強になった。

Gaza beach now Israeli military stronghold

August 2022



November 2023



新企画班

毎年度新たな企画に挑戦

バザーでのクイズラリーを企画

クイズラリー at 白珠祭

新企画班では2024年9月7日、8日に
白珠祭にてフェアトレードに関する
クイズラリーを行いました！

クイズは校内に全5問掲示！

クイズを探しながら文化祭をまわれる
イベントでした。



参加者は多くはありませんでしたが、
高校生だけでなく子どもたちにも
楽しんでいただけました！

参加者にはフェアトレードの
チョコをプレゼント！！



寺子屋班

リーフレットなどで周知運動

ユネスコ世界寺子屋運動に参加し、活動を周知

活動内容

「ユネスコ世界寺子屋運動」に参加

“生涯学習の場を提供、全ての人に教育を”の精神で

江戸時代の寺子屋のような学び舎をカンボジア・ネパールを中心に提供

- ① リーフレット作成
- ② 校内生に向けてプロジェクトについて説明
- ③ 書き損じはがきの回収

リーフレット作成

調べ学習



リーフレット作成



作品のブラッシュアップ



コンテストに作品を応募

最優秀賞を受賞しました！

たくさんの投票ありがとうございました！



校内に発信

伝言ゲームのワークショップ（識字者と非識字者の違いを体験する）

- ①クラスの中で5～6人のグループを作る。できればグループの数が偶数になると良い。
- ②先生は各グループにグループ1、グループ2、など数字を割り当てる。
→奇数グループは「識字者」体験グループ、偶数グループは「非識字者」体験グループとする。
ただし、先生はこのことを生徒には伝えないでおく。
- ③先生は各グループの先頭の子にお題の内容を伝える。
ルール：全グループともに伝言は1人につき1分以内。
奇数グループ（識字者体験グループ）は聞いた内容をメモしてOK
偶数グループ（非識字者体験グループ）は口頭のみでつたえる。メモ禁止。
- ④各グループの最後の子が伝わってきた内容を発表。
- ⑤時間があれば奇数グループが「非識字者」、偶数グループが「識字者」の体験を試みる。
- ⑥文字が書ける/書けない、読める/読めないことの違いを子どもたちに考えさせる。

ポイント

- ・お題の内容に数字をいくつか入れると良い。
例) 近所の八百屋さんではリンゴが1つ200円でバナナが4本300円だったが、スーパーではリンゴが2つで300円、バナナ3本で350円だった。
- ・お題の内容は校種・学年に応じて簡単すぎず難しすぎない内容（メモを取れば80～90%伝わるが、取らないと半分程度しか伝わらないのが理想）になると盛り上げる。

読み書き・計算ができない子供たち(非識字者)の気持ちを体験してもらうレクリエーション

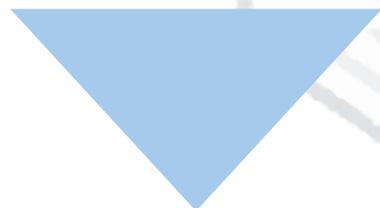
何気なく読めている
文字の大切さを知った。

文字が書けることが楽しいと感じた。

自分たちでなにが悪かったかなどの
解決方法が比較的楽に考えられる。

書き損じはがきの回収

合計**273枚**もの書き損じはがきが集まりました！



発展途上国の子供が**16人**
1か月間寺子屋に通い教育を受けられる

寄付先

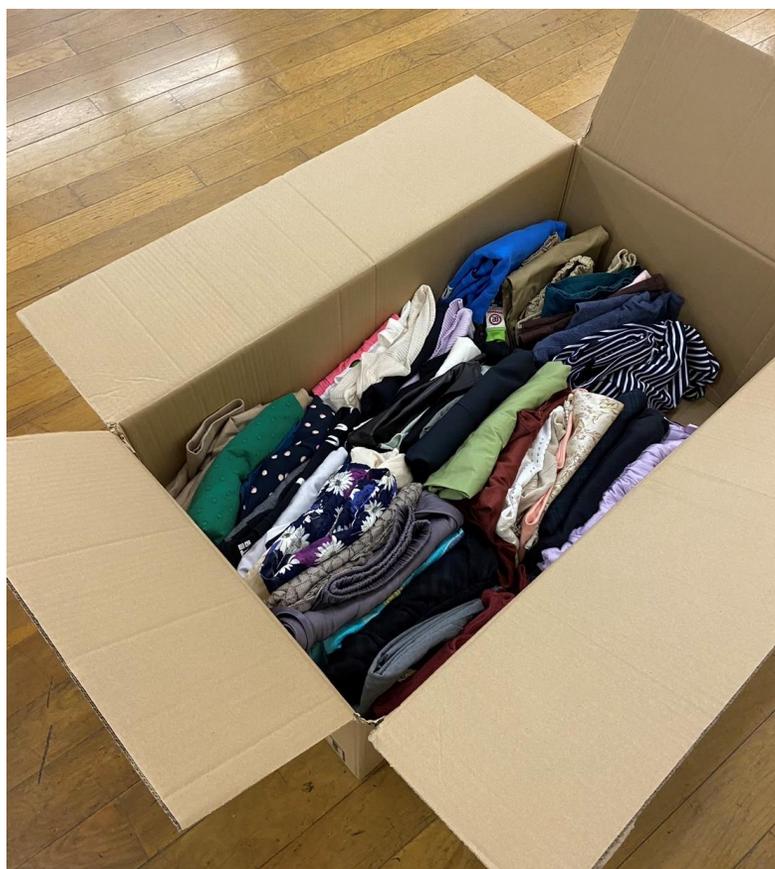
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s113/news/18087.html>

衣料班

生徒や保護者から古着を集め寄付

多くの人を巻き込んで支援の輪を広げる

回収活動



回収期間 10/21~10/25・11/2

皆様ご協力ありがとうございました！

集まった衣料品



今年度 約375着
昨年度まで 約345着

計 約720着

集めた古着は 認定特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパンに寄付させていただきました！

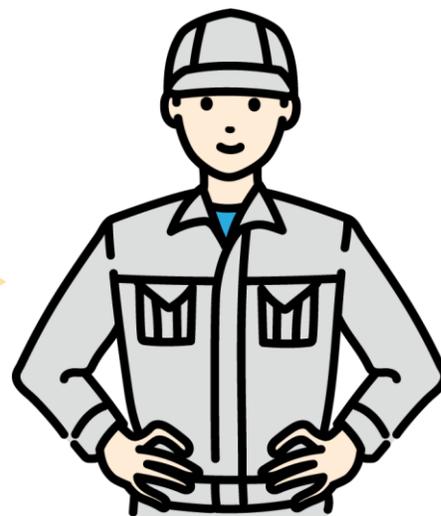
古着リサイクルプログラム「フルクル」



古着



リサイクル業者による買取



現地活動

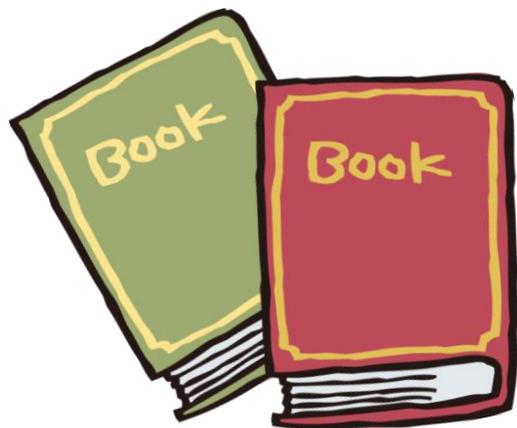


BAJの活動

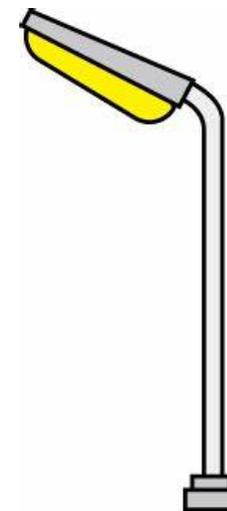
井戸の掘削など**水供給事業**



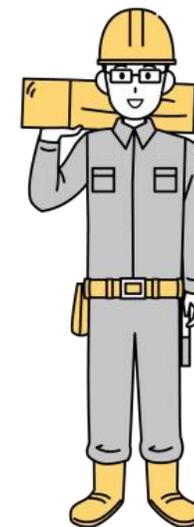
子供たちへの
Book & Toyミニライブラリー



橋の建設や街頭の設置などの
インフラ整備



活動による現地の人々の**雇用**



講演会の開催

ブリッジ エーシア ジャパンより新石様をお招きしました！



衣服という**身近な存在**で多くの参加者を
集めることができた。

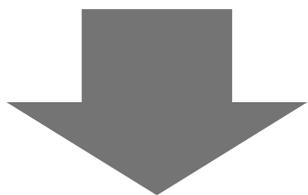
ミャンマーやベトナムという遠く離れた地に
自分たちの活動が届いていることを
実感できた貴重な機会だった。

その他の活動

- 1月21日 港ユネスコ協会主催シンポジウムへの参加
- 3月10日 駐日パレスチナ常駐総代表部 訪問
- 3月24日 交流会with名古屋国際中・高等学校Sus-Teen!
- 3月29日 高校生と創る平和・教育とダイアローグのシンポジウム開催

駐日パレスチナ常駐総代表部 に訪問しました！(3月10日実施)

9月に開催されたユネスコバザーの
収益・募金 41,955円全額を
ガザ地区の支援を行う団体に寄付



ガザ地区での現状を知り、
パレスチナ問題を通して
平和について学びたい





〒106-0047
東京都港区南麻布3-6-3

パレスチナ問題を中心に、
現状や文化について
お話しいただきました！



今回の訪問を通して

- ✓ 訪問前は歴史の知識しかなかったが、
実際にお話を聞いて複雑な問題だと理解できた。
- ✓ 偏向報道に惑わされず、**自分で情報を収集して判断する**必要がある。
- ✓ 意見交換をすることで**新たな視点からの気づき**があった。
- ✓ イスラエルから見た歴史や意見を聞きたい。

正しい知識を身に着け,継続して関心を向け続ける必要がある

交流会 (3月24日実施)

名古屋国際中・高等学校よりSus-Teen!の皆さんをお招きしました!

ホームページ：<https://www.nihs.ed.jp/features/kenkyu/entry-623.html>

お互い活動への刺激になりました!
これからも交流を続け、
一緒に新たな活動に取り組みたい
と感じました!



↑ Sus-Teen!の皆さんのInstagram



ゲームで仲を深めました！

金融経済を学べるカードゲーム、
CHOICEを使いました！
購買・投資・寄付といったアクションに
グループで話し合いながらお金を使い、
ミッションの達成を目指すゲームです。



各グループ個性があって
とても面白かったです！



<https://tawarasha.com/education/choice/>

活動紹介 & アドバイス

抱えている課題やより良い活動のための**アドバイス**をお互いにしあいました！

Sus-Teen!の皆さんからは、**SNSを利用した活動の広がり**をアドバイスいただきました！



シンポジウムを開催しました！ (3月29日実施)

中学生から社会人まで**約50人**の方に
参加いただきました!!

一年間の学びや経験を生かし、ユネスコ委員会としての
まとめの活動になりました。



ユネスコシンポジウム

高校生と創る平和・
教育とダイアログ

日時：3/29 9:00~12:00
場所：三田高校

今回、私たち三田高校は教育と平和を結びつけた
シンポジウムを開催します! ダイアログなどの交
流企画を通して一緒に未来の教育、平和について
考えてみませんか?

アクセス 〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-46

参加申し込みは
こちら



学校周辺図

都営大江戸線 赤羽橋駅より徒歩5分
JR山手線 京浜東北線 田町駅より徒歩13分

ユネスコ新勧告に沿って様々な活動をされている方々にもご講話いただきました！

最後に

大切にしていること

「ビリョクだけど、ムリョクじゃない。」

「こどもまんなか」は誰かがはじっこ、ということではなく、こどもと大人がいっしょになって社会をつくっていくこと。
こども若者は、共創のパートナー

「こども × 多世代 × 連携」

これからの社会づくりのキーワード

共創
ともつく

活動のもとになる考え方

平和を築くとは…？

→ 戦争がおこらないようにする

→ そのためにできることは？

- ・異なる文化、社会の理解
- ・異なる国、民族の人々との交流

港区には外国人が多い

- ・ MICHISHIRUBE様
- ・ 港ユネスコ協会様
- ・ こども家庭庁様

ダイアログ



カード型教材を使ってダイアログ！
最後のダイアログでは、
「現代の人々に平和・教育に関心を
持ってもらう方法」をテーマに
ダイアログをおこないました。



<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/unesco2023/>

シンポジウムを終えて…

- 話を聞くだけでなく、実際にいろいろな人と意見交換をおこなえた良い機会だった。
- 初めてユネスコについて学んだが、わかりやすく、新しい発見があった。
- もっと多くの人に活動を知ってほしい、参加してほしいと思った。
- 初めての経験で緊張したが、和気あいあいとした雰囲気ですぐリラックスしてコミュニケーションが取れた。

**今回のイベントをより良いものにして継続していき、
たくさんの人に輪を広めていく必要がある！**